

「ヒグマの生態と、人間との『距離』の問題を伝え続ける」 第55回ギャラクシー賞報道活動部門奨励賞を受賞

HTBとビデオジャーナリスト阿部幹雄氏の活動が評価

HTBは第55回ギャラクシー賞で、HTBと阿部幹雄氏(写真家・ビデオジャーナリスト)の長期に渡る「ヒグマの生態と、人間との『距離』の問題を伝え続ける」活動が評価され、報道活動部門奨励賞を受賞しました。

受賞した報道活動は、知床半島の中央部に位置する鳥獣保護区ルシャで、HTBとビデオジャーナリスト阿部幹雄氏が2004年から夕方の情報番組「イチオシ！」(月～金 15:55～19:00 北海道ローカル)のコーナー企画「MIKIO ジャーナル」で知床の自然環境や人を恐れないヒグマについて伝え続けており、「ヒグマと人間の距離の問題」は、2017年は7回放送しました。2017年12月には全国ネットの「テレメンタリー」で、2018年1月ローカル特番「知床 子グマ3兄弟」で知床のヒグマについて放送。また「MIKIO ジャーナル」放送後は、HTBのホームページに動画をアップし続けており、30分番組のテレメンタリーは、インターネットのAbemaTVで2回配信されました。

HTBがギャラクシー賞報道活動部門で入賞するのは、特殊詐欺撲滅キャンペーン「今そこにある詐欺」の第52回ギャラクシー賞報道活動部門選奨、「子どもが多いほど保育料が値上がりした問題」の第53回ギャラクシー賞報道活動部門優秀賞以来です。今回のギャラクシー賞報道活動部門では、HTBを含む4作品が奨励賞を受賞しております。

【直近の知床のヒグマに関連した番組】

- ・テレメンタリー2017 「知床羆 ～世界遺産の“距離”～」
2017年12月9日(土) 10:20～10:50 (30分枠 全国ネット)
- ・「HTB開局50周年記念 イチオシ!スペシャル 知床 子グマ3兄弟」
2018年1月22日(月) 19:00～19:54 (1時間枠 北海道ローカル)

「MIKIO ジャーナル」 https://www.htb.co.jp/mikio_journal/

【ギャラクシー賞とは】

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために、1963年に創設。審査は放送批評懇談会会員から選ばれた選奨事業委員会が担当し、賞の決定を第三者に委託する顕彰制度が多いなか、放送批評懇談会の会員が一貫して審査にあたり、賞の独立性を維持しつづけています。現在、ギャラクシー賞はテレビ、ラジオ、CM、報道活動の4部門制をとり、毎年4月1日から翌年3月31日を審査対象期間と定め、年間の賞を選出しています。